

た や しゅう すけ
田 矢 修 介

けん と く ら ぶ
県都クラブ

田中 千福 西山 みえ
岡 幸男 川崎 正次
田矢 修介 前田 勝彦
中村 勝春

● 議案質疑 ●

議案第15号 津市職員の特殊勤務
手当に関する支給条例の一部の
改正について

- 1 前回質問時、(削減を)検討するとの曖昧な回答であったが、今回の削減額は
- 2 土日祝日勤務1,000円支給など他にも削減すべき手当があると考えが如何か
- 3 地域手当などの削減は俎上に載らないのか
- 4 厳しい経済状況や生活の中で納税する市民・事業者の声(気持ち)をもっと忖度せよ

問 納税する市民、事業者の声(気持ち)をもっと忖度せよ

答 特殊勤務手当は民間企業との均衡を考えた上で、市民の理解が得られる制度として、時代の変化、職場の環境の変化等に応じて絶えず見直し、改廃を行っていく。

議案第50号 平成22年度津市一般会計予算

1 人件費について

- (1) 職員数が1.9%減になっているのに、人件費が0.8%減に留まる状態は適正か

2 歳出 衛生費 保健衛生費について

- (1) **問** 一般会計予算に占める割合は約2.23%。前年度当初割合約2.1%から微増しているものの県内他市と比較して著しく低い。これで本当に津市民の医療が守られるのか

答 22年度は保健衛生費に2次救

急医療体制強化に係る政策的経費を計上した。今後も市民要求に沿った保健事業、救急医療が展開できるように議論し予算に反映したい。

- (2) 市民の健康・生命を守るために予算の配分を見直すべきと考えるが如何か

3 歳出 土木費について

- (1) 道路維持において平成21年度3月補正予算の1.88億円が繰り越されているが、当初予算において本来のあるべき予算がカットされていないか、補正を含めた11.6億円で十分か
- (2) 橋りょうの老朽化が懸念されるが、津市の点検率は何%か
- (3) 道路維持や交通安全施設整備など市民生活に最も密着した要望への対応は十分に図られているか

議案第51号 平成22年度津市モーターボート競走事業特別会計予算

1 平成21年度3月補正予算において本場開催で約30.3億円、場外発売で14億円、併せて44.3億円もの減計上がなされているが、平成21年度決算の見通しは。総収支赤字に転落してないか

2 平成22年度は前年度当初比44.8億円もの大幅な減計上になっているが、負のスパイラルに陥ってないか、経営破綻は回避できるのか

3 経営改善への気概とスピードは十分か、民間委託化については是非は

● 一般質問 ●

1 所信表明及び市政運営について市長に問う

- (1) 難局における市長のリーダーシップとは何と考えるか。2期目のノブレス・オブリージュ(高い地位にある者は、大きな義務や責任を負うとする精神)

を問う

- (2) 新最終処分場整備に向けての課題は何か、現処分場の在り方は
- (3) 新斎場の建設に向けての課題は何か
- (4) 排水(水害)対策として市民の苦悩や不安に配慮する為の雨水幹線整備、排水ポンプの能力向上、雨水流出抑制策は、安全・安心なまちづくりの基本と考えるが取り組みは
- (5) 総合的なスポーツ施設の整備に向けた検討は、いつからどのような体制でなされるのか

2 市民の生命を守る津市の救急体制から

(1) 救急医療について

ア 2次救急病院への医師派遣及び画像による遠隔医療システム整備事業の実施時期などは

イ エックス線などの検査機能が十分でないなどの現状改善に加え、初期救急患者と二次救急患者の混在緩和に資する夜間休日応急診療所の恒久施設を強く希求する

ウ 三重県「地域医療再生計画」における「救急医療提供体制充実支援事業」との整合性と当該計画からの支援は

(2) 救急搬送について

ア 日々進歩する救急処置等のガイドラインに対し救急救命士及び救急隊員のライセンス等取得状況は

イ 傷病者の搬送及び受入の迅速かつ適正な実施を図るための「改正消防法」では、救急患者の搬送や受け入れに関する基準を県単位で定めるとするが、県の動向は

3 総合計画の進行管理について

- (1) 本文321頁のうち肝心の財政は3頁。絵に描いた餅とならないか